新メンバーとなった４常任委員会を紹介します！

～各委員長に、今期のテーマ・抱負を語っていただきました～

総務常任委員会

所管事項：コミュニティ、行財政経営、防災など

２年間のテーマ：少子高齢化時代におけるまちづくり・コミュニティの維持と発展について

総務常任委員会委員
委　員　長　小林　憲一（日本共産党）
副委員長　いぢち　恭子（ネット・社民の会）
　　藤條　たかゆき（日本維新の会）
　　池田　けい子（公明党）
　　いいじま　文彦（自民党）

前列左から、いぢち副委員長、小林委員長
後列左から、いいじま委員、池田委員、藤條委員

まちづくりの担い手不足をどう解決するか

いま、「まちづくり、コミュニティ形成」の大きな課題となっているのが担い手不足です。たとえば、地域の自治会・町内会の役員態勢、自主防災組織の態勢、また多摩市が先進的にすすめているコミュニティセンターの運営協議会の態勢…などにも及んでいます。

この状況もふまえ、市の関係部署からの聞き取り、地域の自治会、自主防災組織、コミュニティセンター運営協議会などとのヒアリング・懇談、先進地視察などを通じて、調査・研究し、具体的な手立て、方法を提示したいと思います。

健康福祉常任委員会

所管事項：保健衛生、高齢・障害福祉など

２年間のテーマ：重層的支援体制の整備について

健康福祉常任委員会委員
委　員　長　きりき　優（自民党）
副委員長　中島　律子（あすたま・女性の力）
　　橋本　由美子（日本共産党）
　　折戸　小夜子（多摩の風）
　　本間　としえ（公明党）
※あすたま・維新は7月１日付で会派名があすたま・女性の力に変更となりました。

前列左から、きりき委員長、中島副委員長
後列左から、本間委員、橋本委員、折戸委員

制度をまたぐ横断的な社会保障の構築へ

日本の社会保障制度は、対象者の属性や課題ごとに支援制度が整備され、ときに縦割り行政などと揶揄（やゆ）されつつもそれゆえに専門性の向上や責任の所在の明確化等によって支援内容の充実が図られてきました。

しかし、社会のあり方が変わり、それに伴って国民生活も変化する中で、既存の支援体制だけでは複雑化・複合化する様々なニーズに対応することが難しくなってきています。

この困難な課題に取組むために、令和２年、社会福祉法改正により創設された重層的支援体制整備事業※の整備状況や課題を調査研究し、多摩市の特性を生かした地域課題の解決や支援体制の構築を進めてまいります。

※重層的支援体制整備事業とは…既存の相談支援等の取組みを活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業